

取り組む事項

防災安全部

「ネットワークづくり」

- ・防災安全部が中心となって図上訓練や実動訓練を経験する中で、互いに理解し合い、災害時における情報共有と協働が支障なく滑らかに行える関係を築く



「災害時要支援者の把握とその支援」

- ・災害が発生したとき、避難に支援が必要な住民の情報を事前に把握して、近隣住民で分担を決めて、災害の種類ごとに図上訓練から実動訓練へと行っていく。
- ・各自治会で、班ごとに連絡会を設けて、分担を決めていく。



「消火栓の維持管理」

- ・近隣住民で消火栓を管理する。これは防火意識の醸成を図り初期消火体制の強化にも役立つ。
- ・雪が積もったら除雪し、いつでも消火栓に消防団員がホースをつなげるようにしておく。



「認知症徘徊模擬訓練」

- ・認知症徘徊模擬訓練を実施する。これは認知症の人が徘徊により所在不明になった場合を想定し、関係機関や地域住民の参加による認知症徘徊模擬訓練を実施する。
- ・捜索放送があった時、窓を開けて情報を聴き、家から一歩出て確認する（地域ぐるみの見守り運動）。
- ・この訓練を通じて、みんなで助け合えるまちづくりについて一緒に考えていく

